

発生箇所	③コンクリート版表面	
分類	材料・施工	
参考箇所	4-8-3 セットフォーム工法(13)表面仕上げ	
●内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート表面に、縦断方向に写真のような縞模様が発生した。表面を調査した結果、凹凸は殆ど存在せず光の加減により縞模様に見える状態である。</li> </ul>	
●原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粗面仕上げの施工時に、ほうきのガイドとなる足場板とブラシの摩擦が大きかったことや、硬く厚めのブラシでコンクリート面に対して直角にほうきを引いたことで、ほうきが振動した(跳ねた)。</li> <li>・セメント量が多く粘性が高い配合の場合、人力フロートによる仕上げ時にコテ離れが悪く、凹凸が発生する場合がある。</li> </ul>	
●発生防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほうきをガイドに沿って滑らかに動かす。</li> <li>・ほうきのブラシとコンクリート面とのなす角が大きくなるように、傾けてほうきを引く。</li> <li>・ほうき目仕上げ後に仕上がり状況を入念に確認し、問題があれば再度粗面仕上げを行う</li> </ul>	
●発生した場合の対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべり抵抗値の規格が示されており、それを満足しない場合は、ショットブラストやダイヤモンドグライディングなどを実施し、表面を粗面にし、すべり抵抗の規格を確保する。</li> </ul>	